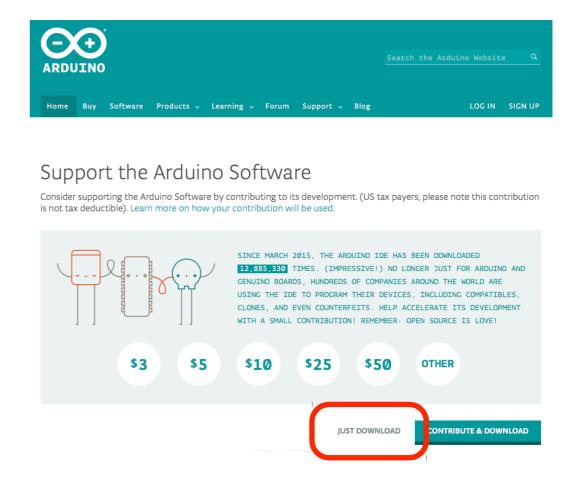
Arduino IDE のダウンロード

(1)https://www.arduino.cc/en/Main/Software

Download the Arduino IDE



②お使いの0Sを選択 (WindowsならInstallerを)



③「JUST DOWNLOAD」で無料ダウンロード(隣は寄付用ボタン)

ArduinoをPCに認識させる

- Arduino IDE を起動 し、ArduinoとPCをUSBケーブ ルで接続する。
- PCが正常にArduinoを認識していれば、ツール/シリアルポート内に項目が増えています。

```
sketch_jan20a | Arduino 1.8.1
  sketch jan20a
 1 void setup() {
 2 // put your setup code here, to run once:
 4 }
 6 void loop() {
 7 // put your main code here, to run repeatedly:
 9 }
Generic ESP8266 Module, 80 MHz, 40MHz, QIO, 115200, 4M (3M SPIFFS), nodemcu, Disabled, None
```

ポートを認識しない場合 (Mac)

- https://tzapu.com/ch340-ch341-serial-adapters-macos-sierra/
- 上記のページより「Winchiphead signed drivers for CH340-CH341, OS X 10.9 to macOS 10.12」を クリックし、ドライバーをダウンロードし、インストールを行う。

ESP開発環境の設定

- 環境設定を開き、追加のボードマネージャURLに下記アドレスを入力し、OKをクリック。
 http://arduino.esp8266.com/stable/package_esp8266com_index.json
- ツール/ボード/ボードマネージャで「esp8226」を インストール(espで検索すると良い)。
- ・ ツール/ボード/Generic ESP8266 Module を選択。

ESP開発環境の設定

ツール内のモード設定を右図のようにする。

ボード: "Generic ESP8266 Module"

Flash Mode: "QIO"

Flash Frequency: "40MHz"

CPU Frequency: "80 MHz"

Flash Size: "4M (3M SPIFFS)"

Debug port: "Disabled"

Debug Level: "なし"

Reset Method: "nodemcu"

Upload Speed: "115200"

Lチカを実行する

- ファイル/スケッチ名/ESP8266/Blink を選択。
- ・ スケッチ内の「LED_BUILTIN」に16を割り当てる。
- ・ 書き込みを行い、Lチカを実行する。



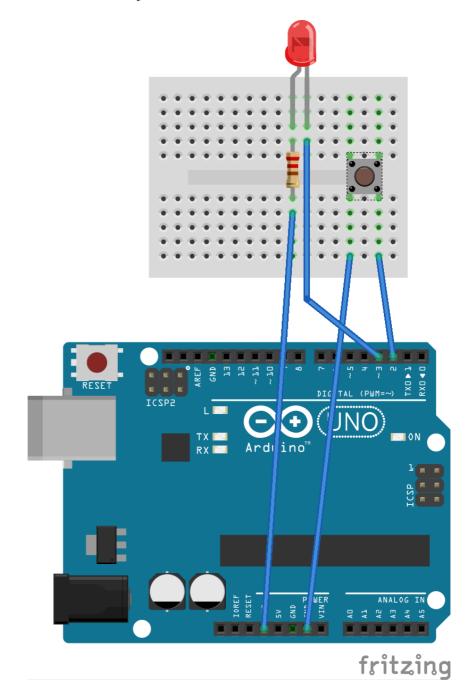
Lチカスケッチで 行われていること

- ・ 最初に「setup」の内容を一度実行する。ここでは準備が行われる。
 - ・ 16番ピンを出力モードに設定している。
- ・ 次に「loop」の内容を繰り返し実行する。
 - ・ 1つめのdigitalWriteでLEDを消灯し、次の命令の前に1000ミリ秒間停止。
 - 2つめのdigitalWriteでLEDを点灯 し、2000ミリ秒間停止。
 - ・再びLED消灯から繰り返す。
- delayの数値を変えて書き込みしてみてくだ さい。

```
void setup() {
  pinMode(16, OUTPUT);
void loop() {
  digitalWrite(16, LOW);
  delay(1000);
  digitalWrite(16, HIGH);
  delay(2000);
```

スイッチとLEDで 回路を作ろう

・ 右図を参考にジャンパ線で回路を作ってください。



スイッチでLEDを 点灯するスケッチ

新規ファイルボタン

- 新規ファイルに右のスケッチ を書いて、書き込みをしてく ださい。
- ・ スイッチを押してみてください。LEDは点灯しましたか?

```
1 void setup() {
2  pinMode(2, OUTPUT);
3  pinMode(0, INPUT_PULLUP);
4 }
5
6 void loop() {
7  if (digitalRead(0) == HIGH) {
8    digitalWrite(2, HIGH);
9  } else {
10    digitalWrite(2, LOW);
11  }
12 }
```

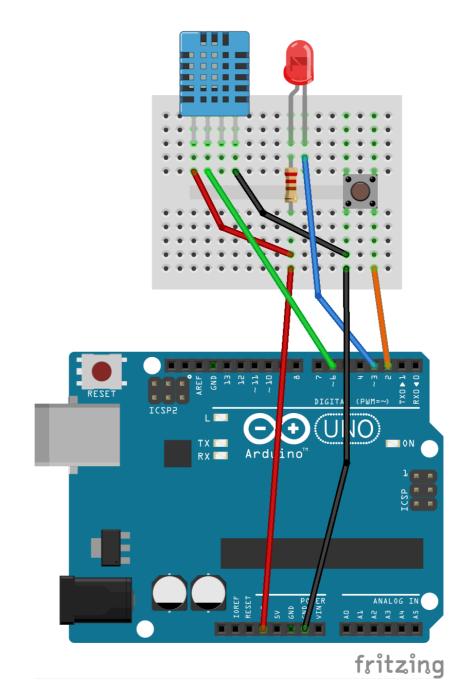
よりプログラムらしく

右図のようにスケッチを書き 換えて、書き込みを行いま す。

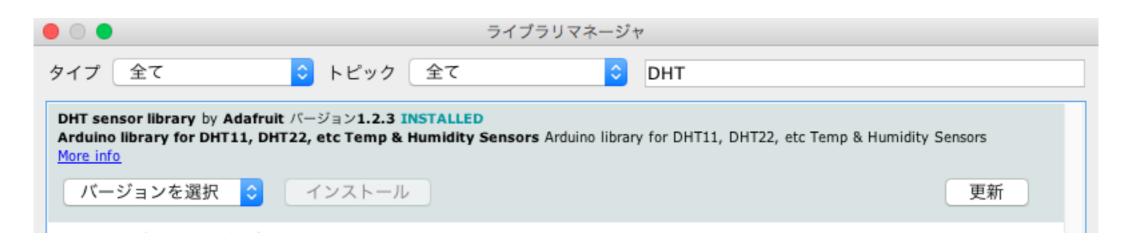
```
1 const int btn = 0;
2 const int led = 2;
3
4 void setup() {
 5 pinMode(led, OUTPUT);
   pinMode(btn, INPUT_PULLUP);
8
9 void loop() {
10
   if (digitalRead(btn) == HIGH) {
      digitalWrite(led, HIGH);
11
12 } else {
      digitalWrite(led, LOW);
13
14
15 }
```

温度センサを使った回路を作ろう

右図を参考にジャンパ線で回路を作ってください。



ライブラリの準備



- ライブラリマネージャを起動(スケッチ/ライブラリをインクルード/ライブラリを管理を選択)。
- DHT sensor library by Adafruit を探す (DHTと検索すると良い)。
- ・ バージョン1.2.3を選択してインストール。

温度、湿度を表示するスケッチ

```
21 if (isnan(h) || isnan(t)){
 1 #include <DHT.h>
                                                  Serial.println("Failed to read from DHT sensor!");
                                            22
                                            23
                                                  return;
 3 #define DHTPIN 12
                                            24
4 #define DHTTYPE DHT11
                                                Serial.print("Humidity: ");
                                            26 Serial.print(h);
 6 DHT dht(DHTPIN, DHTTYPE);
                                                Serial.println(" %\t");
                                                Serial.print("Temperature: ");
 8 void setup() {
                                                Serial.print(t);
    pinMode(2, OUTPUT);
                                                Serial.println(" *C ");
                                            30
   pinMode(0, INPUT_PULLUP);
10
                                            31
11
                                            32 if (digitalRead(0) == HIGH) {
12
    Serial.begin(9600);
                                            33
                                                digitalWrite(2, HIGH);
    Serial.println("DHT11 test!");
                                                } else {
                                            34
14
    dht.begin();
                                                  digitalWrite(2, LOW);
                                            35
15 }
                                            36
16
                                            37
17 void loop() {
                                                delay(1000);
18 float h = dht.readHumidity();
                                            39 }
19 float t = dht.readTemperature();
20
```

動作確認

- ・シリアルモニタを起動(ツール/シリアルモニタ と選択)。
- 1秒 (1000ミリ秒) ごとに、湿度と温度の情報
 (print、printlnで書いた内容) が追記される。
- センサを手指や吐息で温めて、表示温度が変わることを確かめてください。

